

令和4年度 田原本町行政改革推進委員会 議事要旨

日時：令和4年10月7日（金）午前9時30分～10時30分

場所：田原本町役場3階 301・302会議室

出席委員（敬称略）

小松原 尚 （大学非常勤講師）
藤井 誠人 （田原本町議会総務文教委員会 委員長）
中西 秀和 （田原本町自治連合会 会長）
鎌田 芳嗣 （田原本町社会福祉協議会 会長）
山岡 佐規子 （田原本町地域婦人団体連絡協議会 会長）
秋山 利元 （株式会社南都銀行 田原本支店 支店長）
谷野 守弘 （奈良中央信用金庫 専務理事）
榎井 宏之 （公募委員）
高江 啓史 （田原本町副町長）

欠席委員（敬称略）

山本 雅俊 （田原本町農家代表者会 会長）
吉川 眞司 （田原本町商工会 会長）

事務局 教育長 総務部長 健康福祉部長 産業建設部長 町長公室長
教育部長 住民環境部長 町長公室参事 産業建設部参事
企画財政課長 企画財政課長補佐 企画財政課政策企画統計係長

次第

1. 開会
2. 議事
議案第1号 第5次田原本町行政改革の取組状況報告について
議案第2号 第6次行政改革実施計画について
3. その他
4. 閉会

配布資料

- 資料1 田原本町行政改革の取組状況
資料2 令和3年度田原本町行政改革の取組状況について（令和3年度実績）
資料3 行政改革の取組効果

資料4 第6次行政改革実施計画書（令和4年度～令和8年度）

田原本町行政改革推進委員会委員名簿

田原本町行政改革推進委員会規則

1. 開会

（事務局）

本日の出席委員は9名で、田原本町行政改革推進委員会規則第5条第2項に規定する定足数に達しており、委員会は成立。

（町長）

町長挨拶

（事務局）

新委員紹介

2. 議事

（小松原委員長）

議案第1号「第5次田原本町行政改革の取組状況報告について」事務局から説明を求める。

（事務局）

資料1, 2, 3について説明

（中西委員）

資料3の田原本町行政改革における取組効果の中で、財政効果額10億6000万円となっている主な取組におけるそれぞれの明細及び業務の外部委託に対しての費用対効果を教えて頂きたい。

（事務局）

全て概算で水道事業広域化総額4億8,000万強。電力会社の見直し9200万。町税収納率の向上1億4400万。償却資産の適正課税は1億900万。企業誘致の推進6500万となっている。その他含め、合計約10億6000万である。

（谷野委員）

資料2の行政改革の取組状況において、庶務業務の見直しによる業務の効率化、時間外勤務削減時間目標600時間に対して4616時間の削減は素晴らしい達成率。これのもともとの総時間は何時間か。

(町長公室長)

庶務業務の見直しによる業務の効率化における時間外勤務時間の総削減時間について、H28年度が時間外勤務の総計が2万2016時間となっていた。今回の4616時間というのは、R3年度との実績の差となり、R3年度が1万7400時間であり、その純粋な差となっている。

(谷野委員)

資料2の人件費の縮減で総時間外手当削減額の目標が584万1000円で、実績が708万円ということは、(削減できている時間外勤務時間を考えるともっと時間外手当削減に反映されてもいいと考えることから)管理職の方の時間の削減が多いという形になるのか。

(町長公室長)

人件費の縮減による総時間外手当削減額が708万円だが、これは、H28年度との対比であり、H29年度～R3年度のトータルの削減額ということになる。H29年度、H30年度では、削減額が減少していた。この708万円は、R元年度～R3年度の削減額のトータルというような形で、時間外勤務については係長以下にしか適用とならないので管理職の時間数は含まれていない。R3年度については、約300万円の削減となった。

(谷野委員)

単純に目標削減時間600時間に対して、目標時間外手当削減額584万1,000円とを比較して計算すると1時間当たり9700円ぐらいとなるがどういうことか。

(町長公室長)

H28年度の1人当たりの時間外勤務手当が17万7000円となっており、係長以下の職員数177人をかけた数字から算出している。R3年度の1人当たりの時間外勤務手当が16万円で、H28年度の17万7000円から、R3年度16万円を引いた差額1万7,000円に177人を掛けた数字が、今年度の300万あまりの実績となっており、各年度その実績を足した分が、現在の実績となっている。

(谷野委員)

目標600時間の時間外勤務時間の削減に対して実績4616時間ということは、すごく削減できており、それに伴いもっと時間外手当も削減できると思うがそういうわけではないのか。

(町長公室長)

実績 4616 時間というのは、H28 年度の総時間をベースに、R3 年度の総時間数を純粋に引いたものですので、時間としては、間違いなく削減できている。トータルの時間は H29 年度から減少傾向になっており、H28 年度との対比で 4616 時間削減できている。

時間外手当の削減額は、1 人当たりの H28 年度のときの 1 人当たりの手当額に 177 人をかけた数字との比較で、H29 年度～R3 年度のトータルを 500 数十万と見込んでいたが、実績については 708 万円であり、5 年間でマイナスとなった年も 2 年間あり、要するに 3 年間の削減額、その計算で出した 3 年間の、削減額のトータルが 708 万円である。

(榊井委員)

電力会社の見直しによる電気料金削減ということで、430%の達成率となっているが、これについてもかなりの効果があったということで、歳出の削減に直結するような話だと思う。具体的にどんな取り組みをしたのかということと、今後の見通しについて、どのように対応されるのかお聞きしたい。

(総務部長)

電気料金については、H29 年度より入札を実施している。入札の仕方だが、町の公共施設を 4 分割しており、それぞれ業務用の電力、高消費電力、産業用電力、夜間電力。この 4 分割で入札をした結果が今の関西電力となっている。今後の見通しについて関西電力と今契約を見直しているところであり、電気料金値上がりへの対応等検討して参りたい。

(榊井委員)

達成できてない事業の中に行政情報の発信・共有とあり、13%という達成率で、かなり低い状態のように思う。私どもも広報誌を見させて頂いたり、ホームページ等 SNS とか、いろんな媒体を活用されていると思うが、達成できなかったのは何が足らなかったのか、あと住民の周知を引き上げるために、どのような取り組みを考えておられるのか。

それともう一点、田原本駅の南側に 10 階建てビルの建設を予定されており、マンションや商業施設、FM 放送局が入られて、FM 放送局が防災無線のような役割を担われると聞いた。このような FM 放送局を情報発信という点から、何か利用について考えておられるのか教えて頂きたい。

(町長公室長)

行政情報の発信・共有という部分で、達成率が低いというご指摘。この 8.1%という数字だが、総合計画のアンケートの中で多くの選択項目の中から、「行政情報の発信共有が達成されたと感じている」という項目を選択された方が 8.1%という結果となっている。この結果について、より情報発信の内容の充実が望まれている結果ということを受け止める必要

がある一方で、各SNSであったり、テレビ放送など、発信媒体を積極的に増やすことで、例えばホームページのアクセス数等も実績は伸びている。そのようなことから、よりはっきりとした指標の設定を検討する必要があると考えている。また、実際の取り組みによる成果とは少し乖離があるということでご理解いただきたい。

それともう一つ、町からの情報発信の方向性というところで、町から情報発信させていただくことで、情報の受け手の方に町の施策であったり、出来事、魅力や取り組みを感じて頂いて、ホームページで調べてみようか、また、実際に行ってみようかというような、不特定多数の方に関心を持っていただける情報発信が必要だと感じている。様々な媒体を増やしており、最終、SNSであったり、テレビ放送で情報発信する中で、最終は公式ホームページで詳細な情報を見ていただきたいと考えており、うまくホームページに誘導できるような情報発信をしていきたいと考えている。

(総務部長)

新しくFM放送局を入れることについて、公設民営で、町で設置をし、運営は民間にさせていただく形になる。今まで、防災情報につきましては、MCA無線などいろんなツールを利用してきたが、なかなか伝わりにくい。そういったことから、各家庭に個別受信機も検討したが、負担が大きい。FM無線なら、ラジオがあれば聞ける。また災害が起きた場合、その状況がリアルタイムで町民に、また、ネット配信で、遠方におられる方等々にお知らせできるということで非常に有効であるということと、普段につきましては観光情報、また周辺の自治体とも連携して、有意義に使えるようにFM放送局を整備していきたいと考えている。

(小松原委員長)

情報発信ということで、これは町の方では、インターネットサイト端末についてはやはり携帯を前提でお考えになっているのか。

(町長公室長)

ホームページについては、インターネットで発信しており、公式のLINEであったり、フェイスブック、インスタグラム等を通じて、幅広く情報発信しているので、いろいろな方々にいろいろなツールで見ただけだと考えている。

(小松原委員長)

高齢者含めて大多数の人が携帯を持っておられるという前提で世の中動いてるんじゃないかなというのが少し気になり質問した。

(町長公室長)

もちろんスマホ等をお使いにならない高齢者の方々等もいらっしゃるので、そこはデジタルと、アナログと併用していきたいと思っている。例えば広報誌については、今8割がたの自治体が、デジタルとペーパーの併用をしていると聞いている。アナログならではの良さもあると思うので、そこは、いろいろ発信する情報であったり、内容であったり個別に判断していきたいと考えている。もちろん、若い世代の方々には、SNS等、頻繁に利用されるのでそういうところで、田原本町の情報についてきっかけを持ってもらう機会づくりが重要だと思っているので、そこからいろいろ詳細な情報に誘導していけるように考えていきたい。

(小松原委員長)

それから町の方では何か高齢者向けに、スマホを貸し出しているような話も聞いたがこれも今の話と関連あるのか。

(町長公室参事)

スマートフォンをお持ちでない高齢者、またお持ちであっても使い方が分からない高齢者に対し、エックスマバイルという格安スマホの販売等をしている会社と連携し、月に2回スマホ教室をやっている。2回セットで、1回目と2回目の教室の間にスマートフォンを実際に持って帰って頂き、使ってスマホにもなれ親しんでもらうというような取り組み。1人でも多くの町内の高齢者の方にスマホを使って頂き、講座の中で必ず田原本町の公式LINEを登録してもらって、実際に田原本町の情報を受け取ってもらっている。地道な取り組みではあるが、そういう高齢者の方に向けて、少しでも情報を届けられるようにしていきたいと思っている。

(山岡委員)

マイナンバーカードの申請率について、R3 目標が20%、R3 実績が51.81%、達成率が259%ということだが、もともとの目標20%というのが低いのではないかと、また、現在51.81%とのことで町として今後どこまで伸ばしていこうと考えているのか、またこれをどのように使っていくのか。

(総務部長)

今の達成状況は、全国平均ぐらいの達成率となっている。実際に今、申請率をいくらまでの目標にするかということは明確に出ていないができるだけ100%に近い数字を考えていきたい。利用方法については、庁舎内で申請書に記入することなく、マイナンバーカードを持っておれば、機械だけでできるといったようなことや、今後家にいながら申請できるといった電子申請の方法も検討しているところである。今後また普及等々、頑張ってもらいたい。

あと現在の申請率については県内 39 市町村で 19 位となっている。

(小松原委員長)

議案第 2 号「第 6 次行政改革実施計画について」事務局から説明を求める。

(事務局)

資料 4 について説明

(高江委員)

皆さんの認識と共有も含めてというところで行政改革というとお金を削減するとか、歳出改革という文脈で語られることがすごく多いと思う。そういった観点から、第 5 次行革大綱で、今検証いただいたものは約 10 億 6000 万円の財政効果があったと。その一つ前 4 次は確か 70 億か 80 億か結構な額の財政効果が出てたように思う。一方で、今回、第 6 次行革大綱としてそれに基づく実施、計画については、4 億円を目標にしているというところで、これはそういった観点からすれば、行革が後退してるんじゃないかというような認識を持たれる可能性もあると思う。今後この計画は、どういうところに重点を置いて、かつ財政効果だけじゃないところにも、力を入れているというのを事務局からこの場に情報提供いただきたい。

(事務局)

まさに財政効果という部分で見ると額としては、これまでのものに比べれば少し小規模な感があるというところだが、人と工数という部分で、今年度行政改革ということで、事務事業の見直し、また同じ事務でのやり方の見直し、少しでもいいやり方ができないかというところで、今個別の課の個別の事業などを、点検しながら、やり方を見直しているところ。1 年度の中でたくさんの契約をしているような事務については、まとめたり、よりいい方法の模索、すべての課に共通している事務については、やり方を変えて全課的に時間を削減するようなことができないか、職員一人一人の仕事を当てる時間をもっと有効なものにするという観点に軸を置いており、財政効果にはそれが直接的にあらわれているわけではない。

今年度、特に重点的にすべての課の事業の見直しということで、ご協力いただきながら進めているところであり、引き続き頑張っていきたい。

(高江委員)

人口は、今後減少する中であって職員の数を増やすことはできない。ただ一方で住民の方々のニーズは多様化する中で、効果的効率的な行政を実現していくというところで、行政の中核として行革に取り組む必要があると思う。

(山岡委員)

道の駅の来場者数を見たとき、目標と差があり、イベントの開催数についても達成できていないのに、今後増加した数値の設定をされているが大丈夫なのか。

(産業建設部長)

現在、道の駅と史跡公園と別々の指定管理者となっている。現在公募中ではあるが、来年度からは、両方一体で指定管理を行うことによって、より一層、イベントであったりとかで、集客を今後増やせていけるよう考えて努めていく。

(山岡委員)

イベント開催の際、駐車場の問題は毎回出てくるのでそちらについても考えていただけたらと思う。

(産業建設部長)

公園の方で大掛かりなイベントしたときに、かなり混雑が見られているのは把握している。今後も公共施設等をうまく利用し、混雑や近隣住民に影響が出ないように十分に検討していく。

(小松原委員長)

他に質問、意見等ないので、本日の議事はすべて終了。

長時間に亘りご協力いただいたことの御礼。進行を事務局にお返りする。

4. 閉会

(事務局)

委員の協力、小松原委員長の議事進行に対する御礼。これをもって、委員会終了。